（別紙4（2））

事業所名　　すがの親愛ホーム

作成日：　平成　29年　1月　13日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		度重なる管理者変更等、組織的に不安定で、 職員の離職率も高く、 職員の介護レベルに差がある。	組織として安定するためにも、 管理者を含めた、職員全体の離職防止。 介護レベルを上げるためにも、 社内・社外研修制度の充実を図る。	組織の安定させるためにも、まず、 利用者の増加を図り、経営を安定させる。 教育体制も入社直後の現場勤務をなくし、 オリエンテーションを数日実施してからにする。 その後は、マンツーマン指導を職員のレベルに 合わせて実施していく。	3ヶ月
2		介護理念の職員全体の周知徹底と、 情報共有ができていない。	職員全体が介護理念を理解し、 会社の決定事項、利用者情報等がある場合、 全職員が情報の共有を行う。	情報共有の場として、全体朝礼を開始。 その内容を再考、職員の発言の場を、 増やしていく。また、週に1度は全員で理念の 唱和を実施する。	2ヶ月
3		居心地のよい共用空間作りができていない。 外部の見学者、ケアマネージャー等からの 意見では、特徴がない施設という意見が多数。	リビング、居室だけではなく、玄関周り、 ベランダ及び庭の改装を行っていく。	積極的に職員は、施設周辺の清掃を実施、 まず、玄関周りの入りやすい雰囲気作りを行う。 施設内は、絵画等の掲示し、機能性を重視した 物品の配置を行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。